

月当たりの訪問型サービスの算定の考え方と算定パターン

適切なアセスメントにより必要なサービスを検討

標準的な内容のサービスのみ利用

パターン②～⑦が混在

イ) 週1回程度・週2回程度・週2回越え程度の利用

例) 毎週の利用

ロ) イ)以外

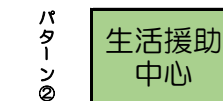
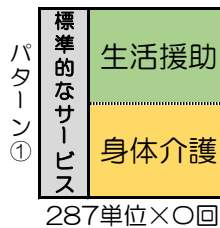
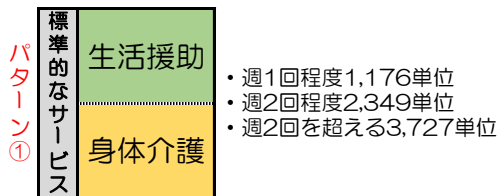
例) 従前相当サービスを含めた多様なサービス・活動と組み合わせた利用
必要な日に必要なサービスのみ利用、集中的な利用など

月額包括報酬プランに位置付け

特徴 月当たりの定額払い(月単位定額報酬)

回数制プランに位置付け

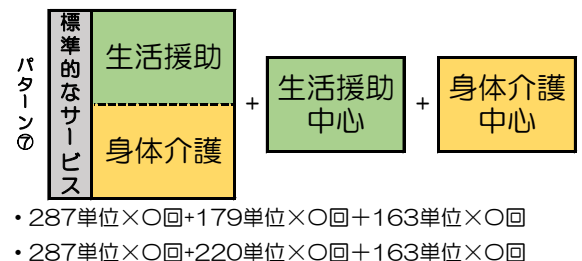
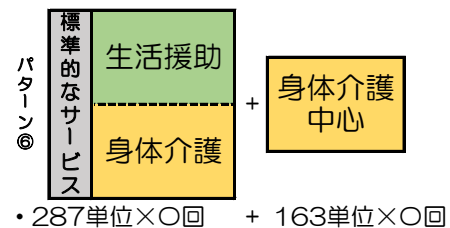
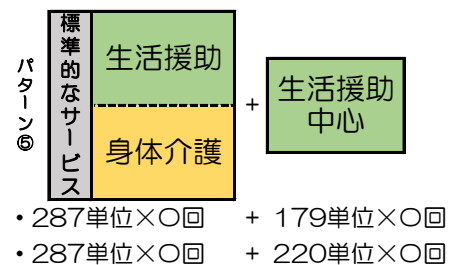
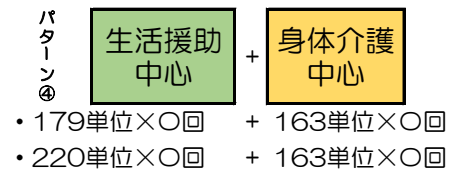
特徴 利用1回ごとの出来高払い ※月当たり上限は3,727単位



- ・179単位×〇回
- ・220単位×〇回



- ・163単位×〇回

標準的なサービスを
週1回程度
週2回程度
週2回を超える
利用の必要がある

左記以外の場合

【パターン⑥～⑦】の注意事項①

状態像等の変化で
生活援助中心あるいは
身体介護中心
またはその両方が
不要になった場合は…

【パターン⑥～⑦】の注意事項②

サービスが混在したパターンは、
月額包括報酬で算定せず、回数制で算定